



# JBWA

## \*\*\* NEWS LETTER No.9 \*\*\*

発信日:2009 年 4. 月 27 日

発信元:一般社団法人

日本ボトルウォーター協会

No.00040010

### 1. JBWA 年次総会開催

一般社団法人日本ボトルウォーター協会は、4月17日新宿住友ホールにて年次総会を開催した。

狩野会長の開会挨拶に始まり、竹馬監事の決算報告、寺岡代表の昨年の活動報告と今年度の方針の発表があり、特別講演ではPETボトルリサイクル協会 専務理事 松野建治様よりご講演を頂戴した。

狩野会長の挨拶ではご自身のお住まいの近所にて協会会員外の同業者に遭遇し、配達方法など気になる事があったので当協会への加入を勧めたいとのご挨拶がありました。又、竹馬監事の決算報告ではボトルウォーター総合展などで計上した赤字分を、ナック社からの寄付で埋め合わせたことなどが発表された。

寺岡代表理事の昨年度の活動報告と今年度の方針では昨年1年間協会が取り組んできた活動実績を報告頂いたと共に、2009年度の活動方針として、発表された。

#### ① ビスフェノールAの動向と対策について

横浜市立大学よりビスフェノールAに関する230ページに渡る報告書が提出され、本年度も引き続き委託契約を継続する。

厚生労働省へBPA溶質検査に協力し、検査結果を近日ご連絡いただくこととなった。

- ② 2008 年度業界規模と今後の見通し  
顧客総数 933,000 台、製造量 383,000KL、販売規模 383 億円、130% 強の成長で推移したと発表。2009 年以降の見通しとして、今後数年間は 20% 越の成長が見込まれる。又、サーバーメンテナンス等の衛生管理基準は、消費者からの関心が高まっている。
- ③ 業界初「HACCP 認証工場」について  
協会正会員ナック社が近畿厚生局及び大阪市保健所へ HACCP 認証工場の申請し最終審査待ちとなっていることが報告された。HACCP 認証がされれば業界初。今後は「JBWA スタandard」を定め各プラントにあった「HACCP 手法の導入」を促進していく。
- ④ ライフサイクルアセスメント (LCA) に対する取組み  
リターナブルボトル(リユース)採用にて環境によさそうだという感覚的なものだけでなく、環境負荷を具体的な数値で評価する LCA の考えを検討し、ボトルの軽量化も含める総合的な環境問題への取組みを検討していく。

PET ボトルリサイクル推進協議会 専務理事 松野建治様より同協議会の活動についてご紹介も含めてご教授いただいた。特にガロンボトルの材質を PET 素材に変更の検討をされている会員様は、会場で配布されたリサイクル推進を前提とし、業界自らに課した指定 PET ボトルの基準である、PET ボトル自主設計ガイドラインに沿って導入されると、飲料用容器ボトルとしての廃棄時に、価値のある廃棄物として有料での引取り業者が多数ありリサイクルに貢献できる事などは会員一同、蒙を啓くことができました。

一般社団法人 日本ボトルウォーター協会  
事務局 課長 芹澤卓道  
東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 42 階  
電話 03-3342-4722 ファックス 03-3348-4336  
E-mail: [jimukyoku@jbwa.org](mailto:jimukyoku@jbwa.org) HP <http://www.jbwa.org>